

平成 28 年第 5 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12 月 8 日（9 日・12 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	酒井 正司 (誠颯会)	<p>1. 名城大学が可児市から撤退について（企画部長）  <u>一問一答方式</u>                      名城大学都市情報学部が 29 年 3 月末をもって可児市から撤退します。現在までの経緯や跡利用の情報が市民にほとんど知らされていません。今後の見通しなどを含めてお尋ねします。</p> <p>2. 災害時におけるペットの救護対策（市民部長）  <u>一括答弁方式</u>                      最近ペットは家族の一員であるとの意識が一般的になりつつあります。被災地の経験に学び、発災に備える動きが各地にみられます。本市のペットに対する取り組みについて伺います。</p> <p>3. ダイバーシティ社会推進について（健康福祉部長・教育長・市民部参事）  <u>一問一答方式</u>                      多様性を意味するダイバーシティの視点からのまちづくりが今後求められるとされています。本市の次世代に向けた方向性を確認したいと思います。</p>
2	大平 伸二 (真政会)	<p>1. 改正道路交通法の対応と取り組みを問う（市長公室長・総務部長）  <u>一括答弁方式</u>                      平成 27 年 6 月 17 日に公布され平成 29 年 3 月 12 日に施行される改正道路交通法の準中型自動車免許の新設に伴い新人採用条件、庁内人事、関係各部署に影響が出てくると思われるが本市の対応策を問う。</p>
3	天羽 良明 (誠颯会)	<p>1. 企業版ふるさと納税でまちを元気に（企画部長）  <u>一括答弁方式</u>                      これまでのふるさと納税の分析と次のステップとして企業版ふるさと納税にどう向き合うか、企業の応援をどう取り込むか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
4	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. <u>早く上水道料金の値下げを (水道部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>高い可児市の上水道料金を引き下げるための環境条件づくり方針を聞く。全量岐阜県水を買うが、県水の基本料金比率は約 70%と高い。可児市水道ビジョンを参考に、水道料金設定の原則に照らして、問題を問う。</p> <p>2. <u>改めてリニア建設問題を問う (建設部長・市民部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>リニア新幹線建設に 3 兆円の公的資金投入が決まった。国会審査と参考人質疑を通じ、沿線住民の生活や自然環境を壊す危険性が指摘され、残土置場では大規模土砂災害の再発を危惧する指摘もある。市との関連を問う。</p> <p>3. <u>来春着工計画の汚染土壌処理施設について (市民部長・観光経済部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>J R 東海「リニア中央新幹線計画」のトンネル掘削残土も受け入れ対象となっているため、住民の生活環境悪化、大型ダンプの最大日量 4 百台等、特定地域に過大な影響を危惧する。汚染土壌である濃縮土対策を質す。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
5	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. 医療・介護負担増で高齢者の生活はどうか？（健康福祉部長） 一括答弁方式</p> <p>国は来年度から、高齢者を狙い打ちした医療と介護の負担増を計画している。厚労省の示した提案のうち見送りになったものもあるが、暮らしに影響を与える改悪案は変わっていない。市民への影響について問う。</p> <p>2. 障がい者の雇用促進のために（健康福祉部長） 一括答弁方式</p> <p>市は障がいのある人が働くことができる就労の場の確保と充実に努力し、そのために基幹支援相談センターを設置し、相談支援専門員を配置すべきだ。</p> <p>3. 就学援助の新入学用品費支給は3月に（教育委員会事務局長） 一括答弁方式</p> <p>経済的困難がある家庭に対して学校にかかる費用を支給する就学援助は、支給月が遅いために、新入学時に間に合わない。中学校の入学準備のために、3月に支給することはできないのか。</p> <p>4. 地域猫活動を始めませんか（市民部長） 一括答弁方式</p> <p>日本では殺処分をされる犬や猫が多く、諸外国に比べ、大変遅れている。地域猫活動は、飼い主のいない猫を地域で世話する活動で、多くの自治体で取り組まれている。市内でも地域猫活動を始めたいという声がある。</p>
6	川合 敏己 (誠颯会)	<p>1. 地域の安全度をより高める雨水排水路にするために（建設部長） 一問一答方式</p> <p>近年、予測が難しい局所的な集中豪雨が増えている。第二次可児市都市計画マスタープランに基づき、今後宅地化が推進される地域の安全度を高めるためにも、地域の実態に合った雨水排水計画を進めるべきではないか。</p>
7	田原 理香 (誠颯会)	<p>1. 市民への行政情報伝達について（市長公室長） 一括答弁方式</p> <p>行政から発信される様々な情報は、必ずしも全市民に行き渡っているとは言えない。所謂「情報弱者」が生まれている。特に防災や福祉の情報において、行政と市民間で共有されなければならないと考える。改善策を問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
8	中村 悟 (真政会)	<p>1. <u>可児市体育施設の指定管理等について問う (市民部参事)</u>  <input type="checkbox"/>一括答弁方式</p> <p>可児市体育施設の指定管理者の指定が議案に上がっています。民間企業の発想により施設を有効利用することは大変良い事と思うが、利用者側にはどのように変わるのかが解りにくい。その内容について質問する。</p> <p>2. <u>可児駅前「子育て・健康・にぎわい空間」施設の「にぎわいづくり」について今後の方針を問う。(健康福祉部参事)</u>  <input type="checkbox"/>一括答弁方式</p> <p>子育て・健康については、行政機関が移動するものなので建物が完成すれば移動するだけですむが、「にぎわい」づくりは簡単ではない。今後の取組みについて問う。</p>
9	川上 文浩 (誠颯会)	<p>1. <u>本市の土地利用のあり方について (市長・建設部長・市民部長)</u>  <input type="checkbox"/>一問一答方式</p> <p>人口減少時代に突入したわが国では、各自治体で総合戦略を定めた。その中で「定住・移住の促進」を目標に掲げ、土地利用のポテンシャルを活かす取り組みを促進するとあるが具体的にどのように進めるのか。</p> <p>2. <u>災害時業務継続計画 (BCP) について (総務部長)</u>  <input type="checkbox"/>一問一答方式</p> <p>熊本地震では、災害対応の拠点となる自治体庁舎や病院に深刻な被害が出た。熊本地震を教訓にした災害時業務継続計画が必要となっている。本市においてはどのような状況か。</p>
10	高木 将延 (誠颯会)	<p>1. <u>震災時の地域防災について平時からできることは何か。(総務部長・教育長)</u>  <input type="checkbox"/>一括答弁方式</p> <p>いつ起きてもおかしくない大地震。発災直後、災害支援は共助に頼らざるを得ないところが大きい。避難訓練等を含め、平常時から地域の自主防災組織へのサポートは出来ているのか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
11	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p>1. <u>屋外型やコンビニへのAED設置について見解を問う。(総務部長)</u>  <u>一問一答方式</u>            万が一に備えた救急救命体制向上を図るため、公共施設には屋外型AEDボックス設置やコンビニエンスストアへのAED設置に対する取り組みについて見解を問う。</p> <p>2. <u>本市の認知症対策について問う。(健康福祉部長)</u>  <u>一問一答方式</u>            国は昨年、新オレンジプランを策定し認知症支援対策を強化しようとしている。そこで本市の認知症サポーター養成及び徘徊高齢者に対する本市の取り組みを問う。</p>
12	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p>1. <u>鳥獣被害防止計画について(観光経済部長)</u>  <u>一問一答方式</u>            日本はかつて野生鳥獣を乱獲した反省を踏まえ、近年まで保護政策を続けてきた。しかし、90年代に入り「保護」から個体数の「管理」へと踏み出す。本市の「鳥獣被害防止計画」を基に、その取り組み状況を問う。</p>
13	渡辺 仁美 (市民の声)	<p>1. <u>市民の健康増進意識の向上と今後の健康診査への勧奨について(健康福祉部長・健康福祉部参事)</u>  <u>一括答弁方式</u>            本市の特定健康診査受診の状況を性別・年代別にたずねる。また受診勧奨への取り組みについて問う。ひいては市民の健康増進意識の向上につながることを期待するものである。</p>
14	山根 一男 (市民の声)	<p>1. <u>可児川の水をもっときれいにするために(市民部長・水道部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>            まちを流れる川の水がきれいであること、これは住みごこちの良いまちの必須条件だと考える。川の水を汚す原因として、生活雑排水の流入が考えられるが下水への接続や合併浄化槽の設置状況はどうか。</p> <p>2. <u>公民館にWi-Fiを設置できないか。(総務部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>            公的施設や人が集まる場所にWi-Fiを設置する動きが強まっている。外国人観光客や災害時対応などが主な理由であるが、公民館等に設置することによって、さらに利用者が広がる。設置を検討してはどうか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。